

JETOみやぎ NEWS vol.7

2015年春夏号



4月7日 仙台北法人会 青年部会 様

昨年の8月9日(土)に「藤崎本館前」と「仙台三越本館前」の2箇所で行った「震災孤児への街頭募金活動」を行い、集まった募金をご寄付頂きました。当日は、伊達武将隊から伊達政宗公<貞山公>・隠密の風の2名にもご協力をいただきました。この募金活動は、次年度以降も継続していき、JETOみやぎへの支援についてご協力いただけたとの温かいお言葉を頂きました。



4月22日 国分町街づくりプロジェクト 様

国分町街づくりプロジェクトの皆さんがJETOみやぎ事務局に訪問されました。震災から5年目となる3月11日に、仙台市中心部に位置する国分町の元鍛冶町公園にてチャリティイベント『キャンドルin国分町』が開催されました。そのイベントを通して皆様から募った寄付金と、ご協賛頂いた近隣の商店の方々からの寄付金を合わせて持参いただき、JETOみやぎにご寄付いただきました。イベント当日は強風が吹き荒れる中、時折吹雪にも見舞われ大変苦労したそうですが、東北福祉大のコスベルサークルによるミニコンサートなどで大変盛り上がったそうです。



4月19日 S≡WINDLE 様

ライブを中心に仙台で活動されています、ロックバンド「S≡WINDLE」の皆さんがJETOみやぎ事務局に訪問されました。4月10日に行われましたチャリティライブ「For the next generation SAVE THE CHILDREN」にて皆様から募った募金を持参いただき、JETOみやぎにご寄付いただきました。音楽を通してお子様の未来を支援したい、そしてその輪が広がり継続的に支援できるように活動をしていくという力強い言葉をいただきました。



4月30日 ジェームス・オペ 様

4月2日から4月29日まで、仙台市青葉区一番町にごございますライフスタイル・コンシェルジュのアートスペースにて作品展を開催した宮城県柴田町在住の陶芸家ジェームス・オペ様より、作品販売金の一部をJETOみやぎにご寄付いただきました。ライフスタイル・コンシェルジュでは、ラウンジセミナーを通じて継続的にJETOみやぎへの寄付を行っていることを知り、「是非協力したい」とお申し出いただきました。ジェームス・オペ様の代表作にレインボーシリーズがありますが『それぞれ違う色でも一緒になればひとつの美しい虹となる』というところに想いがあります。虹は平和の象徴でもあります、肌の色や宗教・国の違い関係なく、人間もひとつになれば美しい色を奏でる、つまり平和になれるというメッセージが込められているそうです。『子どもたちのために協力するのは当たり前のこと』と笑顔で話す姿がとても印象的でした。



ご支援のお願い

JETOみやぎの活動は、すべて皆さまからのご寄附・賛助によって成り立っています。活動の推進を円滑に行い、目的を達成するためにも、JETOみやぎの活動にご理解とご賛同をいただき、活動への末永いご支援をお願いします。

ご寄附(税法上「特定寄附金」扱い)

ご寄附・・・・・・・・・・1口1,000円より
JETOみやぎより資料(支援グッズ等)を郵送いたします。

※JETOみやぎは、仙台市より「認定NPO法人」としての認定を受けています。これにより、JETOみやぎにご寄附をいただいた場合、寄附金控除等の税の優遇措置を受けることができます。なお、税制上の優遇措置を受けるには、JETOみやぎ発行の寄附金受領証明書が必要です。

賛助会員

個人・・・・・・・・・・年・1口10,000円より
法人・・・・・・・・・・年・1口10,000円より 1口よりご賛助頂けます。

● 賛助会員について

JETOみやぎの趣旨にご賛同いただき、震災孤児への継続的な長期支援を頂ける個人や法人の方が対象です。賛助会員様には事務局が発行するニュースレターの郵送や総会のご案内を予定しています。



お振込先

七十七銀行 卸町支店
普通口座 5786851
NPO法人 JETOみやぎ
(エヌピーオーホウジンジェットミヤギ)
※お振込手数料はご負担ください

※寄附金受領書をご郵送いたします。銀行よりお振込みいただいた際は、恐れ入りますがご住所等のご確認をさせて頂きたく、JETOみやぎへご連絡いただけますようお願いいたします。

《郵便振替口座》

特定非営利活動法人ジェットみやぎ
02250-8-135678

※寄附金受領証明書をご郵送いたします。



お問い合わせ

電話: 022-782-0303

メール: info@jeto-miyagi.org

http://jeto-miyagi.org

事務局より...

第4期も無事に65名のお子様たちに「生活・教育支援金」を支給することができました。

ご支援いただいております皆様に深く感謝申し上げます。

JETOみやぎの活動もいよいよ5年目となりますが、ありがたいことに各種イベントや展示会、個展などでJETOみやぎを支援された方々が、別の機会でもJETOみやぎを支援する企画を実施いただくという嬉しいお知らせを多くいただくようになりました。皆様からの信頼を強く感じる日々でございます。

今後も皆様からの信頼を大切に、誠心誠意を持って事務局の運営を心掛けてまいりますので、引き続きご支援をお願い致します。

ご支援いただいている皆様のおかげで、第4期となる平成26年度の「生活・教育支援金」も無事に子ども達にお渡しすることができました。第4期は65名の子ども達に一人15万円をお渡しさせていただきました。また、11名が20歳となりましたので、JETOみやぎの支援は卒業となり、記念品としてお名前を刻印したボールペンをプレゼントさせていただきました。「生活・教育支援金」の支給にあたりまして、子ども達より感謝の言葉と現況についてご報告をいただきました。震災から5年目となり、支援いただいた経験を日々の学習や進学・就職という人生の岐路において恩返しできる道を模索している様子が子ども達の声から感じることができました。感謝する心を持ち、前向きに人生を捉え、前進している子どもたちの姿に感動いたしましたので、この場を借りて皆様にご報告申し上げます。今後とも子ども達の未来のために、JETOみやぎへの皆様のお力添えを何卒よろしくお願いいたします。

認定特定非営利活動法人JETOみやぎ

理事長 菅原裕典



子供たちからのメッセージ

■この一年間で一番嬉しかったこと

学校無欠席ですぐ事が出来ました。(8歳・Yくん)

おばあちゃんに誕生日プレゼントをあげ、喜んでくれたことです。(19歳・Tくん)

■この一年間で新しくできるようになったこと

三回目の転校で新しい友達づくりを始めています。(12歳・Mさん)

大学入試のため目標を決めて(なくなった両親の出した大学)学習に取り組んだこと。(19歳・Tくん)

■今、一番頑張っていること

中総体に向けて一生懸命部活動に取り組んでいます。(14歳・Mくん)

吹奏楽部で夏コンに向けてがんばっている。(14歳・Sさん)

■応援してくれる方々へ伝えたいこと

応援してくれてありがとうございます。ぼくは3年間学校を一日も休まなかったのですが、これからの3年間も休まないでがんばりたいです。これからも応援を宜しくお願いします。(9歳・Yくん)

辛いことや苦しいことがあったけど、前の自分とは違って新たな自分として生活出来ているので、これからもたくさんの人の感謝を忘れずに頑張りたいと思います。いつも応援して頂きありがとうございます。(20歳・Hさん)

いつも応援ありがとうございます。高校2年生となり、そろそろ受験について考えなくてはなってきました。部活動と勉強どちらでも良い結果を残せるようがんばりたいです。(16歳・Mくん)

大学に進学したいので勉強など頑張りたいと思います。どうか長い目で見守って頂ければ嬉しいです。(16歳・Tくん)



皆様からのご寄附・ご支援

平成26年度下期（11月1日～4月30日）にご支援頂いたチャリティ活動・ご寄附の一部をご紹介します。
その他のチャリティ報告詳細はJETOみやぎのホームページをご参照下さい。

11月4日 清月記杯パークゴルフ大会 様

おおひら万葉パークゴルフ場にて、第4回清月記杯パークゴルフ大会が開催されました。今大会は参加者が307名と、昨年の218名よりも大幅に増え、大変風が強い中ではありましたが、参加された皆様が元気はつらつとプレーをされており、参加者の最年長は86歳、最年少は21歳という、非常に幅広い年代の方々が参加しました。JETOみやぎへの贈呈式の場を設けていただき、参加費全額をJETOみやぎにご寄附いただきました。



12月4日 プランニング・オフィス社 様

仙台発大人の情報誌「りらく」を発行されている、株式会社プランニング・オフィス社様よりJETOみやぎにチャリティをいただきました。「りらく」は地域に密着した大人の生活情報誌で、宮城県を中心とした地域の「食」や「旅」を切り口に、「人」にスポットをあてた編集誌面でアクションのきっかけ、生き方のお手本となるような大人のための情報を提供している情報誌になります。当日は、プランニング・オフィス社 代表取締役 松本辰三様にお越しいただき贈呈式を行いました。



12月6日 都城ライオンズクラブ 様

宮崎県にございます、都城ライオンズクラブ 会長 徳留弘二様よりJETOみやぎ事務局に来訪され、10月28日に都城市総合文化ホールで開催された「東日本大震災 震災孤児支援 チャリティ講演会」で集まった収益をご寄附いただきました。講演会では約400人の参加者を前に、南蔵院 第23世 住職の林寛乗氏が「心ゆたかに生きる」と題して講演をいたしました。講演の中で震災孤児についても触れ「お父さん、お母さんがどこかで見守ってくれていると信じられる、心豊かな子どもたちに育てほしい。皆さんが幸せを祈り続けることは、何より勇気を与える」と締めくくりました。また、徳留様もチャリティについての重要性について熱く語って下さいました。



12月8日 ブティックS-TWO 様

ブティックS-TWO様主催によるクリスマスチャリティパーティーが開催され、参加者の皆様よりチャリティをいただきました。



12月22日 THE SECOND AID 様

機能性はもちろん、デザイン性も重視し、今各メディアで取り上げられています防災グッズ、「THE SECOND AID」を開発・発売しております。高進商事株式会社 代表取締役 小田原様よりJETOみやぎ事務局に来訪くださいました。事務局を実際にご覧いただき、当団体の趣旨にご賛同され、早速ご寄付を頂戴いたしました。また、商品の販売を通して今後JETOみやぎを寄付というかたちでサポートいただける力強いメッセージをいただきました。



1月11日 宮城県トライアスロン協会 様

仙台市青葉区の台原森林公園にて、七ヶ浜町復興祈願 第4回三時間耐久ラン大会が開催されました。男女に分かれ、起伏のある1周2.8kmのコースを三時間で何周できるかを競いあいました。同大会には350名の方々が参加し、それぞれのペースでレースを楽しみました。参加費の一部をご寄附としていただきました。当日参加されました皆さまお疲れ様でした。



1月15日 母と子のうたごえサークルあめんぼ 様

あめんぼ様は1989年より、仙台市中心部の市民センターなどで月二回親子で歌うことを目的としたサークルです。昨年、サークル創立25周年記念、震災復興を祈念してオリジナルCDを作成いたしました。収録されている曲は、全てサークルのお母さんたちが作詞をしています。4曲目の「希望の花」は震災復興ソングとしてサークルでも歌っており、子どもたちにも震災のことを伝え、歌い継いでいます。今回、オリジナルCDの収益の一部をご寄附いただきました。



2月5日 アール・フランセ 様

アール・フランセ様では「絆のツリー・プロジェクト」として、ダイワロイネットホテル仙台様・ホテルモントレ仙台様・三井ガーデンホテル仙台様の3ホテルと連携し震災復興の支援企画「絆のツリープロジェクトNo.4」を実施し、多くの宿泊者の皆様方により復興の願いを込めてオーナメントの飾り付けや募金を頂きました。株式会社アール・フランセ 代表取締役 菅原 芳則様にお越しいただき「絆のツリー・プロジェクト」で集まった募金の全額をJETOみやぎへご寄附いただきました。



2月6日 「輝く富士」齋藤 玄昌 様

ライフスタイル・コンシェルジュにて、去る平成26年12月18（木）～12月24日（水）の1週間にわたり、藤崎本館6階 美術ギャラリーにて開催されました「輝く富士」主催の齋藤 玄昌 様、保科 毅 様、深野 稔 生 様のチャリティ贈呈式を行いました。主催の3名様はそれぞれ雄勝石をキャンバスに石絵、石描、石写の手法で素晴らしい作品を発表されている仙台在住のアーティストです。「輝く富士」展では、JETOみやぎワンコインチャリティーとして作者サイン入り雄勝石を提供し、その収益をJETOみやぎにご寄附いただきました。



3月5日 扇寿会 様

仙台市内で日本舞踊教室「扇寿会」を主宰する藤間流師範、藤間扇松様よりJETOみやぎ事務局に来訪されました。「震災復興・がん撲滅チャリティー」として日本舞踊公演を電力ホールで開催し、その収益をJETOみやぎにご寄附いただきました。東日本大震災から1年がたった2012年春、震災復興を掲げた公演を扇寿会として開こうと思ひ立ち、日本人の心に宿る伝統文化の力を、心の再生の一助にしたいとの思いがありました。扇寿会のメンバーの方々と共に今年1月の公演では再生への思いを踊りに託しました。



3月8日 株式会社オレンジライフ 様

株式会社オレンジライフ様(本社:和歌山県有田郡)が毎年開催しております、「東日本大震災 あの日を忘れない〜残された子どもたちに『絆』を繋ぐ〜PART4」が3月8日に開催されました。今回も地元の小学生120名がボランティアキッズ屋敷を運営、会館内ではJETOみやぎコーナーを設置して、活動の紹介とともに募金を行っていただきました。500名近くの方が来場され、募金とJETOみやぎの子ども達にメッセージを綴っていただきました。



3月8日 伊佐チャリティ音楽祭 様

鹿児島県伊佐市にございます、大口ふれあいセンターにて「第四回 伊佐チャリティ音楽祭」が開催されました。イベントは大口ロータリークラブ、伊佐ライオンズクラブ、国際ソロブチニスト大口伊佐の3団体が主催として開催。会場では伊佐マルシェの出店やワークショップもあり、多くの方にご来場いただきました。また、会場に設置した募金箱にはご来場の方々をはじめ、出演者の方々、そしてスタッフの皆様が集まりました。「大震災を風化させない、そして決して忘れない」という皆様からの温かい想いをいただきました。



3月10日 宮城教区浄土宗青年会 様

東日本大震災3.11の寄附ため、宮城教区浄土宗青年会の皆様から託鉢を行い、その集まったご浄財をJETOみやぎへご寄附いただきました。



3月10日 株式会社ヌマザワ 様

山形県新庄市に本社を置く葬儀社、ヌマザワ様が毎年JETOみやぎ支援のために開催されております「第6回 震災孤児支援コンサート」に参加させていただきました。会場はエヴァホール新庄。今回のゲストアーティストは二胡奏者の「姜曉艶 (ジャン ショウイェン)」さん。二胡ののびやか音色は、時に中国の壮大な風景を思わせ、また時に私たち日本の懐かしい景色を浮かび上がらせ、素晴らしいコンサートでした。JETOみやぎも壇上でご案内の時間をいただきました。また、姜さんからも、JETOみやぎへ激励と、皆さんで支えていきたいと思いますと言葉をいただき、曲の構成も私達JETOみやぎと東日本大震災で被災した皆さまに捧げる内容となっております。



3月11日 松戸北ロータリークラブ 様

松戸北ロータリークラブ(千葉県)より会長の崎谷様、理事の平田様、幹事の太田様が訪問されました。崎谷会長より「JETOみやぎの正会員となり今後共にこの活動を支えていきたい」と正会員の加盟表明をいただき、ご寄付を頂戴いたしました。東日本大震災から4年目となる今日、JETOみやぎは新たなパートナーを得た事に喜びと感謝を申し上げ、今後この震災を風化させず、しっかりと子供たちを支援してまいります。



3月14日 さとうたつおさんを囲む会 様

仙台市青葉区中央にございます、アートギャラリー「アートキューヴ」様におきまして、『さとうたつおさんを囲む会』様よりJETOみやぎへ寄附金の贈呈がございました。東日本大震災で被災した宮城県石巻市立大川小学校の近くで育った佐藤達夫氏の原画を所有している方が、欲しい方へ譲り、売上金の一部を東日本大震災に関連する孤児たちへ寄附するという企画のもと、いつもJETOみやぎにご支援頂いております。



3月16日 heartone project 様

ハートーンプロジェクトの和田春様がJETOみやぎ事務局に来訪されました。heartone project(ハートーンプロジェクト)は東日本大震災の被災者を支援する目的で、日本のインディーズシーンで活動する歌手やミュージシャンを中心に構成されている団体です。全国各地でイベントやライブを開催し、その収益を東日本大震災復興支援として様々な団体へご寄付されております。今回もその収益の一部をご寄附いただきました。また、JETOみやぎには継続的にご支援いただいております。誠にありがとうございます。



3月17日 武庫川女子大附属高校 様

武庫川女子大学附属高等学校の平松先生と生徒さん2名、武庫川学院鳴松会 東北支部 支部長の猪狩様の計4名がいらつしや、生徒さん達が文化祭や体育祭で保護者と呼び掛けて募金活動したうちの一部をご寄附いただきました。まだまだ継続的な支援が必要である状況をご説明したところ、今後の支援に対する意志も示してくださいました。今後とも温かいご支援を宜しくお願いいたします。



3月18日 株式会社 久保田本店 様

株式会社 久保田本店様(本社:仙台市青葉区)よりJETOみやぎに寄付を支援いただき、仙台キリンビバレッジサービス株式会社様主催のもとに贈呈式を行いました。久保田本店様は、仙台キリンビバレッジサービス様がご提案されていますJETOみやぎチャリティ自動販売機をご採用いただき、その売上金からのご寄付となります。本年度のご寄付により、累計40万円を超える多くのご浄財となりました。本当に感謝申し上げます。贈呈式には、株式会社久保田本店 代表取締役 久保田様、仙台キリンビバレッジサービス株式会社 代表取締役 社長 門馬様が会し、久保田社長より菅原理事長へ贈呈いただきました。



3月29日 ガトーフェスタ ハラダ 様

ガトーフェスタ ハラダ様、本社 1階エスポワールホールにて三遊亭 王楽さんの独演会が開催され、このコンサートチケットの売上代金をJETOみやぎへご寄附いただきました。王楽さんは古典を現代風にアレンジし、聞き手を飽きさせない口調で観客の皆さんに落語を堪能させてくださいました。また今回の公演では日本の伝統芸・太神楽師の鏡味 仙志郎さんも登場し、ご来場いただいたお客様を大いに楽しませて下さいました。



3月31日 “BONDS”-Save Our NIPPON Project- 様

『“BONDS”-Save Our NIPPON Project-』代表の中濱様がJETOみやぎ事務局にお越しになり、東日本大震災復興チャリティイベントでの収益金をご寄附いただきました。“BONDS”様は「都内でイベントを行った際の収益金を自分達で直接被災地に行き寄付をし、全ての過程をイベントに来ていただいた方々にSNSを通して配信することにより収益額や収益金の使い道を明確にする」という信念の元に活動されております。中濱様には昨年の3月にもお越しいただいており、継続的にJETOみやぎを支援していただいております。



4月5日 鹿児島第一ライオンズクラブ 様

鹿児島県鹿児島市にございます、鹿児島サンロイヤルホテルにて『鹿児島第一ライオンズクラブ 結成35周年記念講演』が開催され、その中でJETOみやぎ理事長 菅原裕典による講演を行っていただきました。講演では「東日本大震災から5年目を迎えて、これからの「JETOみやぎ」の役割をテーマにお話をさせていただきました。たくさんの方々にご聴講いただきました。また、当日は「第二十八回チャリティコンサート」の収益及びコンサートホールのロビーに於いて募金活動を行った際のご寄付も併せてチャリティいただきました。

